

★ 相談支援センター「ゆうゆう」



写真は、相談支援センター「ゆうゆう」の相談員です。相談員の山田さん(写真中央)は「日ごろ、相談を受けるなかで、障がいのあるお子さんへの理解やさまざまな支援の必要性を感じています。ご家族の抱えている不安や悩みをいっしょに考え、取り組んでいきたいと思えます」と、話してくれました。

「障がいに関するワンストップの相談窓口が欲しい」。このような要望を受け、障がいのある人への相談事業をより充実させようと昨年4月1日、総合福祉センター内に相談支援センター「ゆうゆう」がオープンしました。

「ゆうゆう」では、障がいのある人やその家族からの相談を受けています。相談時間は、月曜日から金曜日まで(祝日、休日、年末年始を除く)の午前8時30分から午後5時15分まで。社会福祉士、精神保健福祉士、発達障がい支援コーディネーターの3人体制で相談に応じています。

生活上の困ったことや不安なことなどを聞き、その人にあった福祉サービスの情報や専門機関の紹介をしています。必要に応じて、教育委員会などの関係機関との連絡調整もしています。

また、障がいのある子どもの特性や接し方といった情報を支援者が共有しやすくするサポートブック「よろしくね」の配布をしています。

詳しいことは、相談支援センター「ゆうゆう」(☎92-8578)まで。



栄養委員さん おすすめおやつ

さつまいものトリュフ

(2個 約95 kcal)



◆材料・数量(20個分)

- さつまいも=300g
- 三温糖(砂糖)=大さじ2
- ココア……15g
- きな粉……15g

◆作り方

- ①さつまいもは蒸して皮をむき、粘りが出るまでフードカッターにかける(フードカッターがない場合は裏ごしでもよい)。
- ②さつまいもが熱いうちに三温糖(砂糖)を加え、よく混ぜる。
- ③トリュフの形に丸め、ココア、またはきな粉の上を転がして全体にまぶす。

◆アドバイス

粉をまぶすときは、器(お皿やボウル)の方を回すと簡単にまぶせるよ。

輝いている人

学生同士、連帯感をもって 楽しい大学にしよう



クリスマスイルミネーションで自転車発電をする村井さん(左)と町田さん(右)

岡山県立大学で数々の催しを中心となって企画・運営している

村井 聡紀さん
町田 啓さん

岡山県立大学での学生生活を充実したものに、活動に取り組んでいるのが、学友会事業委員会委員長の村井聡紀さんと、学友会執行委員長の町田啓さんだ。

ながら、北海道出身の町田さんはうなずく。昨年は、新入生歓迎会をはじめ、球技大会、七夕フェスティバル、ハロウィン、クリスマスイルミネーションなどを実施。「参加した学生一人ひとりが楽しみなから、交流の輪を広げてほしい」と、町田さんは話す。

転機は2年前。「学生同士、連帯感をもって楽しい大学にしよう」。町田さんが中心となって、それまでのクラブ・サークル中心の構成から、現在の組織に変えた。「学生全員のための団体でありたい」とは、2人の思いだ。

新企画のクリスマスイルミネーションでは、学生らによる自転車発電の電力で電球を点灯させた。「みんなでこぎ続けることから何か生まれる」と、村井さんは熱く語った。

全国から学生が来る大学ゆえ、学生同士がお互いをよく知らない。「楽しい学生生活は、まず仲間づくりから」と、活動の根底にあるものを話す村井さんを見

「自分たちが少なからず残した足跡を見て、後輩たちが何かを感じ、新たな動きにつながってくれたら」と、後輩が引き継いでくれることを2人は切望し、「大学の内外にさまざまな人の輪を創ることができたと感じる」と胸を張る。